

令和4年度 第2回 上越市健康づくり推進協議会

と き 令和5年2月8日(水)

ところ 上越市役所木田第1庁舎401会議室

上越市健康づくり推進協議会 委員名簿

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

(敬称略・順不同)

委員名	所属等	区分	選出区分
高橋慶一	一般社団法人 上越医師会 会長	継続	医療関係 団体
林三樹夫	一般社団法人 上越医師会 副会長	継続	
内山一晃	一般社団法人 上越医師会 理事	継続	
五十嵐広隆	一般社団法人 上越医師会 理事	新規	
黒田陽	一般社団法人 上越歯科医師会	継続	
上野憲夫	一般社団法人 上越薬剤師会 理事	継続	
上野光博	上越教育大学名誉教授 保健管理センター医師	継続	学識経験 者
高林知佳子	新潟県立看護大学 教授	継続	
関美智子	食生活改善推進員	継続	公募市民
上野秀平	運動普及推進員	継続	
佐藤まゆみ	上越地域振興局 健康福祉環境部 地域保健課長	継続	関係行政 機関
市川均	上越市教育部長	継続	
岩崎健二	えちご上越農業協同組合 常務理事	継続	民間団体
小堺涼太	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	継続	
石野元枝	新潟県立上越総合技術高等学校 養護教諭	継続	教育関係 団体
諸岡研史	上越市私立幼稚園連盟 会長	継続	

令和4年度第2回上越市健康づくり推進協議会次第

と き 令和5年2月8日(水) 午後7時～8時30分
と ころ 上越市役所木田第1庁舎 401会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 保健活動の取組状況と令和5年度の方向性について

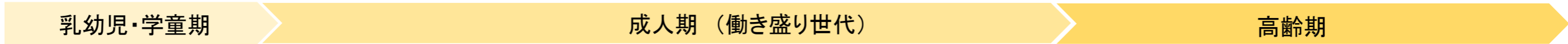
(2) その他

4 閉 会

上越市健康増進計画に基づく取組による改善と今後の課題

＜当市の保健活動＞

自分のことが自分でできる自立した生活を目指して、生活習慣病の改善や受診勧奨等に向けた保健指導により、予防可能な疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎臓病)への対策を実施し、早世・障害を予防する。



1. こどもの肥満の状況

		H28	R3
3歳児 (肥満度15%以上)		4.3%	6.6%↑
公立保育園(3.4.5歳児)	男	3.37%	5.23%↑
	女	5.51%	5.73%↑
小学5年生 (肥満度20%以上)	男	11.1%	13.76%↑
	女	6.86%	8.53%↑

改善
課題

3歳児、小学5年生とも肥満が増加傾向である。

2. 健診結果の状況

		H28	R3	国の目標
特定健診 受診率 (同規模市順位)	上越市	51.4%	44.7%↓	60%以上
	(1位/37)	(3位/25)		
	同規模市	36.3%	36.4%	
特定保健 指導実施率	上越市	66.7%	63.3%↓	60%以上
	同規模市	19.2%	21.3%	
メタボ 該当者	上越市	15.0%	17.3%↑	H20より 25%減 (18.6%以下)
	同規模市	17.7%	21.0%	
メタボ 予備軍	上越市	7.5%	8.1%↑	
	同規模市	10.4%	11.0%	

特定健診受診率は新型コロナウイルス感染症の影響で低下している。

メタボ該当者は同規模市より少ないものの、増加傾向である。

成人期 (働き盛り世代)

		高血圧				糖尿病		脂質異常	
		収縮期血圧		拡張期血圧		HbA1c		LDL	
		130以上		85以上		5.6以上		120以上	
		H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
男性	上越市	47.9%	47.2%↓	41.8%	28.0%↓	42.7%	43.5%↑	38.6%	42.6%↑
	県	45.5%	48.8%	26.5%	26.0%	65.0%	65.0%	42.6%	46.1%
	国	49.2%	51.8%	24.1%	25.7%	55.6%	58.5%	47.3%	47.3%
女性	上越市	40.7%	42.3%↑	26.5%	19.9%↓	44.1%	41.5%↓	47.3%	48.7%↑
	県	38.7%	44.0%	15.9%	17.3%	67.4%	66.2%	51.9%	54.5%
	国	42.7%	47.2%	14.4%	17.0%	55.2%	56.8%	57.1%	56.6%

糖尿病の有所見率は県・全国と比較して低い。

高血圧の拡張期血圧の有所見率は県・全国と比較して高い。

3. 脳血管疾患・虚血性心疾患・人工透析の治療の状況

		H28	R3
		脳血管疾患	64歳以下
	65歳以上74歳以下	8.7%	7.3%↓
	後期高齢者	22.2%	19.2%↓
虚血性心疾患	64歳以下	1.7%	2.4%↑
	65歳以上74歳以下	6.6%	5.6%↓
	後期高齢者	14.2%	12.7%↓
人工透析	64歳以下	0.3%	0.5%↑
	65歳以上74歳以下	0.4%	0.4%
	後期高齢者	0.4%	0.5%↑

65歳以上の脳血管疾患、虚血性心疾患の治療者割合は減少している。

64歳以下の脳血管疾患、虚血性心疾患の治療者割合は増加している。

4. 介護認定の状況

	介護認定率					
	2号			1号		
	H28	R3	差	H28	R3	差
上越市	0.4%	0.4%	0ポイント	23.0%	21.6%↓	▲1.4ポイント
(認定者数)	297人	274人	▲23人	12,366人	12,688人	322人
同規模市(平均)	0.4%	0.4%	0ポイント	20.8%	19.1%	▲1.7ポイント

1号被保険者の要介護認定率は減少傾向である。

重点的に取り組んできた国保加入者については、「糖尿病の有所見率、65歳以上の脳血管疾患・虚血性心疾患の治療者割合、1号被保険者の要介護認定率」は改善が見られている

介入が困難である国保加入者以外の「働き盛り世代の実態把握や生活習慣病の発症予防・重症化予防」が課題

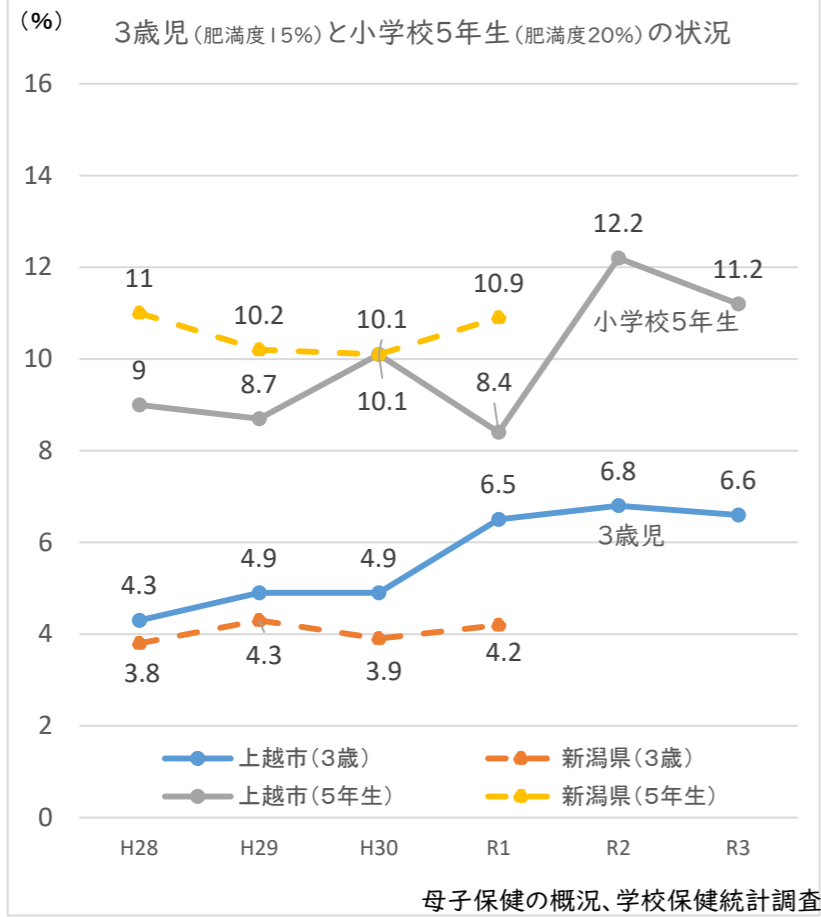
健康プロジェクトとして重点的に保健活動を推進

◆健康プロジェクトの重点課題及び取組◆

健康プロジェクトでは、上越市健康増進計画に基づく取組のうち、次の内容について重点的に推進する。

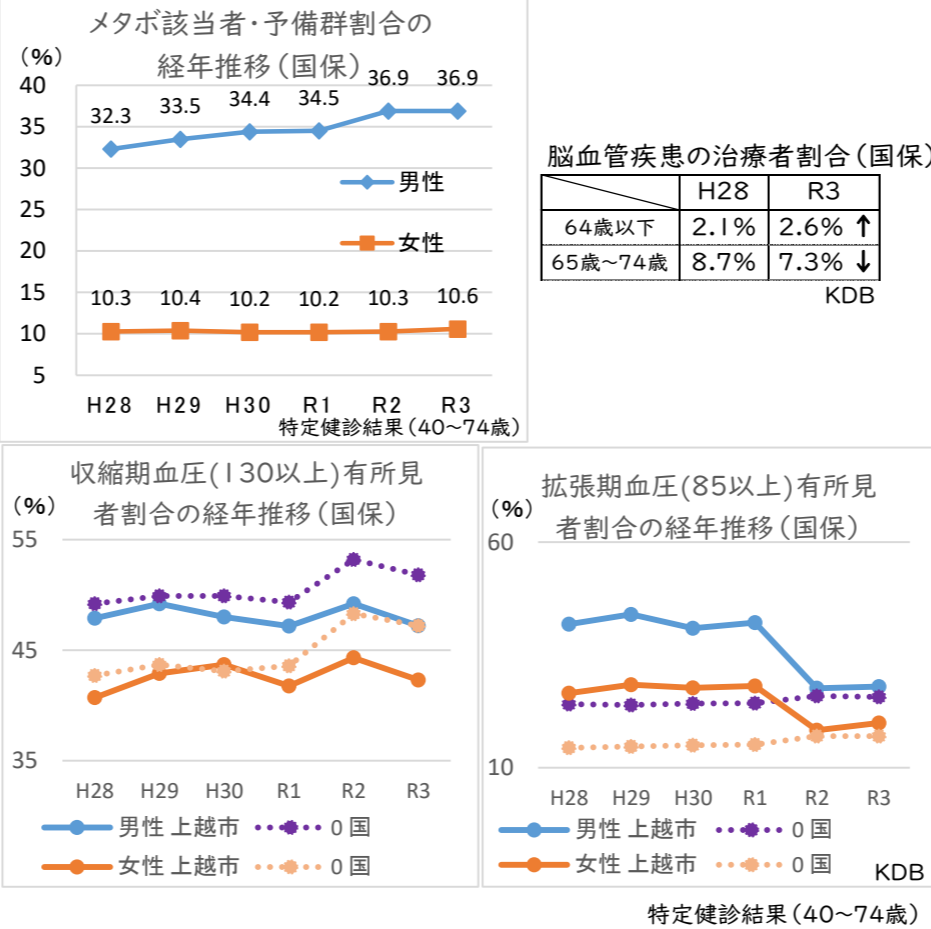
健康プロジェクトの重点課題及び取組の方向性

A 子どもの肥満の減少



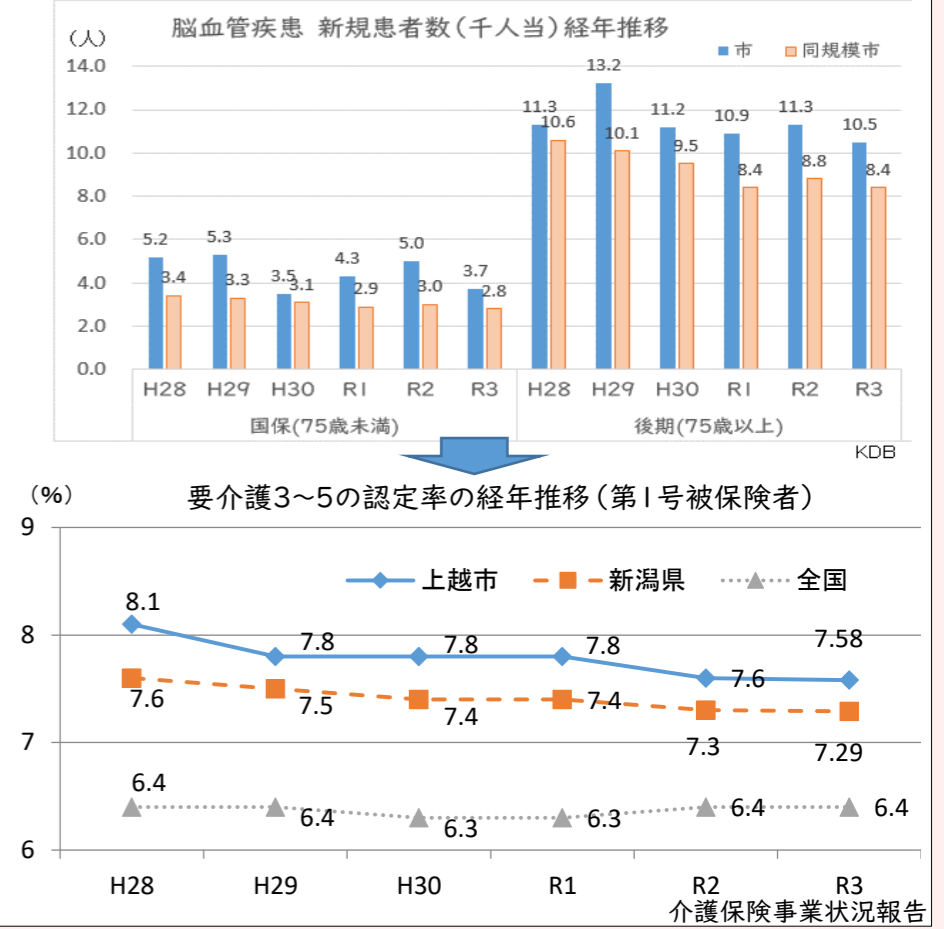
- ・3歳児、小学5年生とも肥満が増加傾向で、年齢が高くなるにつれ肥満割合が増加している。野菜が嫌いな子が多いことが背景
- ・幼児期の生活習慣は成人期の生活習慣に大きく影響する
- ・保護者との面談を通じて家庭での生活改善につながるよう支援

B 働き盛り世代の寝たきり予防



- ・国保加入者の男性のメタボリックシンドローム該当者等は増加傾向にある
- ・国保加入者の拡張期血圧(下の血圧)が全国と比較が高いが減少傾向にある
- ・脳血管疾患の治療者割合は64歳以下の国保加入者で増加傾向であり、また、重症化した人には治療中断者がいる。なお、65歳以上では減少傾向である
- ・健診結果から自らの体の状態を理解し、生活改善につなげる取組を継続

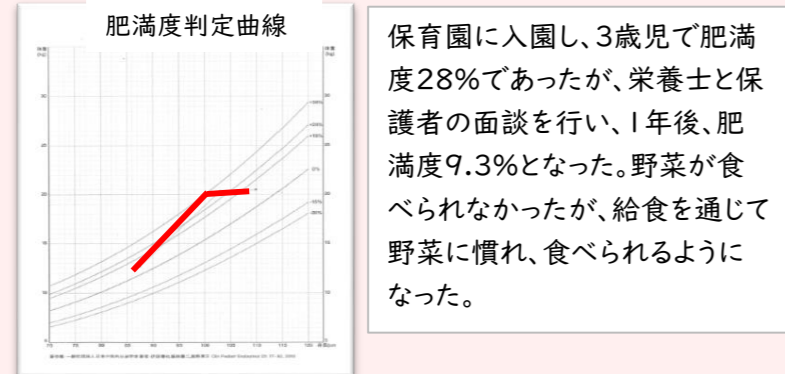
C 介護予防・重度化防止の推進



- ・脳血管疾患新規患者数は同規模市と比較し多いが減少傾向にある
- ・要介護3~5の要介護認定率は全国・県と比較が高いが減少傾向にある
- ・脳血管疾患の背景となるメタボリックシンドロームや高血圧等の生活習慣病の予防が必要

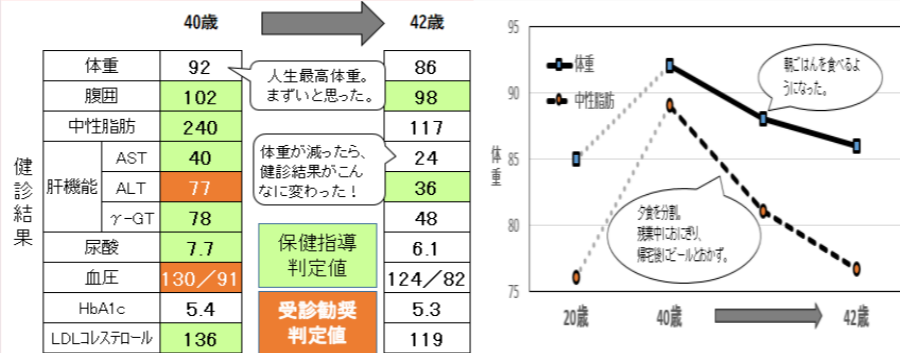
健康プロジェクトを通じて、更に下記のようなイメージで取組を強化します。

◆保護者との面談を通じて家庭で体重コントロールができる◆



- ・私立園への肥満予防の取組普及
- ・こども園、小中学校の職員研修の実施に向けた検討
- ・成長の情報等、データ連携についての検討

◆自ら健康管理ができる市民の増加を目指す◆



- ・中小企業等への働きかけ
- ・健診結果の可視化に向けた情報技術の活用

◆適切な服薬管理等により寝たきりを防ぐ◆

78歳男性(BMI 26)

項目	R2	R3	R4
血圧	188/86	162/71	147/75
判定	Ⅲ度血圧	Ⅱ度血圧	Ⅰ度血圧

降圧薬服薬開始
→ 家庭血圧 140/70

健診で高血圧を指摘され、服薬を開始後高血圧が改善
毎年健診後に、保健師と血圧値を確認

- ・介護予防に関するデータ分析
- ・介護予防に成果を上げている事業所に対する顕彰制度の検討

健康プロジェクトの取組

健康プロジェクト(年次計画)

【目指す姿】

- ・生涯を通じた切れ目のない生活習慣病予防・介護予防の推進により、市民の健康を維持し、予防可能な脳血管疾患等による要介護認定を受ける人を減少させる。
- ・健康寿命の延伸・健康格差の縮小を図り、住み慣れた地域で、健康にいきいきと暮らし続けるまちを目指す。

	取組項目	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
A	★子どもの肥満の減少 <u>子どもの肥満の減少</u>		健康増進計画等の策定	
		<ul style="list-style-type: none"> ・私立園への肥満予防の取組普及 ・公立園、私立園、小・中学校の職員研修の実施に向けた検討 ・成長の情報等、データ連携について検討 (幼児健診データを切れ目なくデータ連携するための仕組みの構築) ・JA等関係団体との連携 		
B	★生活習慣病予備群、脳血管疾患等による要介護認定者の減少 <u>働き盛り世代の寝たきり予防</u>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業等への働きかけ ・健診結果の可視化に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所等に市の健康実態を説明 ・中小企業等の健康教育・保健指導の継続 ・健診結果の可視化に向けた情報技術の検討 	情報技術の具体的な活用	
C	<u>介護予防・重度化防止の推進</u>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業の効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関するデータ分析 ・要介護の改善に取り組む介護事業所や住民組織に対する顕彰制度の検討 	介護保険事業計画の策定 顕彰制度の創設 → 表彰	